

わくわく常盤



常盤通いを南蛮車でパレード



スラ(石炭運搬具)も登場

「宇部まつり」も石炭祭から名前も変わり、子ども達には「炭坑」は死語となりつつあるが、常盤は宇部の炭坑発祥の地であり、子ども達に炭坑を伝え残す使命がある。南蛮車(ナンバ)を製作してPR。また常盤池の北側には江戸期の炭坑を保存している。



常盤の向田兄弟が考案した南蛮車最初は水を汲み上げるために使われたが、のちに石炭も捲き上げるようになった。九州のナンバとは形が違い、昭和30年頃まで小さい炭坑で活躍した。



